

少林寺拳法に入会して 成長できた自分について



先ず簡単に自己紹介をします。私はシュエイ、タンです。ミャンマーのバンマウ町出身です。町の主な産業は農業と金の採掘です。すでに日本で仕事をしている夫と一緒に暮らしたいと考え、日本にきました。ミャンマーでは五年間銀行に勤めていました。

私が少林寺拳法をはじめたきっかけは、拳士である夫の修練を見学し、興味を持ったからです。その際、先生から少林寺拳法の説明をして頂きました。その中で「自分が強くならなければ相手も助けることが出来ない」という少林寺拳法の教えが私の心を動かし、入会にいたりしました。

入会后、米蔵支部で仲間と修練に励み、少林寺拳法をとっても好きになりました。相手の事を考える修練は楽しく、人間関係が広がりました。修練を通じて相手を思いやる心が育まれることが素晴らしいと感じました。以前の私は人前で話すことがとても苦手でした。しかし少林寺拳法の大会などで演武をすることで、少し自信が持てるようになってきました。そして今年の関東実業団大会ではミャンマーで現在起こっていることを知って頂きたいと思い論文の部に挑戦しました。

ミャンマーでは2020年の総選挙の後、国軍によるクーデターが発生し、内戦がはじまりました。病院や家が壊され、安心して町を歩くことが出来なくなりました。夜八時以降は外出禁止です。銀行では外国の通貨が使えなくなり、物価も上昇し続けています。

仕事を失う人も多く国外に出る事も難しくなりました。学校は二年間授業が出来ない状態です。言論の自由、報道の自由が無いミャンマーでは日本のように自由に発言する機会もありません。海外から取材に訪れたジャーナリストも多数拘留されています。政府を非難することはとても危険です。とても多くの方が反対運動に参加して逮捕されており、自分たちで政治家を選ぶ事が出来ません。内戦状態では死ななくてもよい人が亡くなっています。ミャンマーでは私たちの家族、親戚、友人が沢山住んでいて、とても不安になります。

私が平和について少林寺拳法から学んだ事は半分は自分の幸せを、半分は他人の幸せを考えられる人になる事です。技が出来ても平和な世界は出来ません。人と協力し、家族、地域社会、職場などで良い人間関係を作っていく事が大切です。私は困っている人がいたら助けられる人間になりたい。将来はミャンマーの子どもたちに少林寺拳法で学んだ、時間を守る事、チームワークの大切さ、責任をきちんと取る事、相手の事を考える行動、などを教えていきたいです。

今世界のいたるところで戦争がおこっています。ミャンマーも平和ではありません。日本の平和がとても羨ましいです。私の国も少林寺拳法を楽しめる平和な国になってほしいです。少林寺拳法の修練を通じて様々なことを学び、成長していきたいと考えています。